

きよはらむれき
清原無歴

(1830~1904) 書家 勤王家

天保元年 日出村(日出町)の光蓮寺に生まれる

無歴は号、名は宣道。20歳のときに大野郡田中村の法盛寺の第16世住職となり、近隣で宗学を教えるなどした。教部省に勤めるなどいくつかの職を歴任し、官界を退いた後は、書画に専念。各地を巡遊して画作につとめた。

参考:『大分県歴史人物事典』『大野町誌』